



※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	30,563,199株	2021年3月期	一株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	2,148,456株	2021年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	28,397,461株	2021年3月期3Q	一株

(注) 当社は2021年4月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績および前年同四半期実績はありません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当社は2021年4月1日に単独株式移転により設立されました。なお、当連結会計年度が第1期となるため、前期実績および前年同四半期実績はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) 研究開発活動に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
3. 補足情報 .....	8
主力品の売上高 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は2021年4月1日に単独株式移転によりあすか製薬株式会社の完全親会社として設立されました。

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社経営成績は以下のとおりであります。

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に帰属する 四半期純利益
2022年3月期第3四半期	44,179	4,677	4,790	4,082
(ご参考) 2021年3月期第3四半期	43,350	3,776	3,227	2,451

(ご参考) 2021年3月期第3四半期実績はあすか製薬株式会社として公表した数値であります。

2021年12月20日に公表しました通り、第3四半期会計期間において、当社連結子会社であるあすか製薬株式会社が保有する土地および建物を譲渡したことにより、特別利益として固定資産売却益9,425百万円を計上いたしました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ①医薬品事業

内科、産婦人科、泌尿器科の3分野に注力している医薬品事業は薬価改定の影響を受けつつも全般的に堅調に推移しました。製品別にみると、内科領域の主力品である甲状腺ホルモン剤「チラーゼン」が58億4千2百万円と堅調な売上高を維持したほか、難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」も37億9千5百万円と好調に推移しました。産婦人科領域においてはGnRHアンタゴニスト「レルミナ」が57億1千3百万円、月経困難症治療剤「フリウエル」は26億4千3百万円と大幅な伸長となりました。また泌尿器科領域ではLH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リユープロレリン」が39億3千2百万円となりました。

以上の結果、売上高は396億8千5百万円、セグメント利益は48億8千6百万円となりました。

※主力品の売上高につきましては、3. 補足情報に記載しておりますのでご参照ください。

## ②その他

動物用医薬品、臨床検査、医療機器等の各事業を展開しているその他事業につきましては、動物用医薬品事業における畜産薬品、飼料添加物を中心に売上が好調に推移しました。

以上の結果、売上高は44億9千4百万円、セグメント利益は2億8千6百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、875億3千6百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金213億6千9百万円、受取手形、売掛金及び契約資産170億6千1百万円など流動資産が544億8千4百万円、有形固定資産112億2千4百万円、投資有価証券117億1千万円など固定資産が330億5千2百万円であります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、391億2千4百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金52億2千9百万円など流動負債が193億1千7百万円、長期借入金124億7千3百万円、退職給付に係る負債67億3千8百万円など固定負債が198億6百万円であります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、484億1千2百万円となりました。その主な内訳は、利益剰余金467億9千8百万円など株主資本が454億5千7百万円、その他有価証券評価差額金28億8千6百万円などその他の包括利益累計額が29億5千4百万円であります。

その結果、自己資本比率は55.3%となっております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年12月20日の「2022年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

（4）研究開発活動に関する説明

当第3四半期連結累計期間における研究開発費総額は、26億8百万円であります。

子宮内膜症に対する適応症追加を目的に開発しておりましたレルミナ錠40mg（レルゴリクス）については、「子宮筋腫に基づく諸症状（過多月経、下腹痛、腰痛、貧血）の改善」に加え、「子宮内膜症に基づく疼痛の改善」を効能効果として2021年12月に承認を取得しました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	21,369
受取手形、売掛金及び契約資産	17,061
商品及び製品	9,461
仕掛品	316
原材料及び貯蔵品	4,636
その他	1,639
貸倒引当金	△0
流動資産合計	54,484
固定資産	
有形固定資産	11,224
無形固定資産	5,372
投資その他の資産	
投資有価証券	11,710
その他	4,761
貸倒引当金	△17
投資その他の資産合計	16,454
固定資産合計	33,052
資産合計	87,536
<b>負債の部</b>	
流動負債	
支払手形及び買掛金	5,229
電子記録債務	3,368
短期借入金	1,943
その他の引当金	1,088
その他	7,688
流動負債合計	19,317
固定負債	
長期借入金	12,473
その他の引当金	258
退職給付に係る負債	6,738
その他	336
固定負債合計	19,806
負債合計	39,124
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	1,197
資本剰余金	694
利益剰余金	46,798
自己株式	△3,233
株主資本合計	45,457
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	2,886
為替換算調整勘定	89
退職給付に係る調整累計額	△21
その他の包括利益累計額合計	2,954
純資産合計	48,412
負債純資産合計	87,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	44,179
売上原価	23,485
売上総利益	20,694
販売費及び一般管理費	16,017
営業利益	4,677
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	251
その他	115
営業外収益合計	367
営業外費用	
支払利息	43
休止固定資産費用	137
その他	72
営業外費用合計	254
経常利益	4,790
特別利益	
固定資産売却益	9,425
特別利益合計	9,425
特別損失	
減損損失	5,921
その他	2,444
特別損失合計	8,366
税金等調整前四半期純利益	5,849
法人税、住民税及び事業税	1,048
法人税等調整額	717
法人税等合計	1,766
四半期純利益	4,082
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,082

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	4,082
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	61
退職給付に係る調整額	22
持分法適用会社に対する持分相当額	89
その他の包括利益合計	173
四半期包括利益	4,256
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	4,256

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	39,685	4,494	44,179	—	44,179
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	41	41	△41	—
計	39,685	4,536	44,221	△41	44,179
セグメント利益	4,886	286	5,173	△495	4,677

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△495百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) あすか製薬株式会社の主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高  
( 2 0 2 2 年 3 月 期 第 3 四 半 期 実 績 )

(単位:百万円)

品 目 名	前 期 2021年3月期		当 期 2022年3月期		対前年同四半期 増減率 (%)
	第3四半期 実績	年間実績	第3四半期 実績	年間見込	
高血圧症治療剤 カンデサルタン※	9,603	12,329	9,795	12,056	2.0
甲状腺ホルモン剤 チラーヂン	5,572	7,209	5,842	7,326	4.8
子宮筋腫・内膜症治療剤 レルミナ	4,365	5,709	5,713	7,643	30.9
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤 リュープロレリン	3,629	4,502	3,932	4,844	8.4
難吸収性リファマイシン系抗菌薬 リフキシマ	3,379	4,334	3,795	4,815	12.3
月経困難症治療剤 フリウエル	2,229	2,952	2,643	3,222	18.6
抗甲状腺剤 メルカゾール	1,084	1,401	1,144	1,434	5.5
高血圧症治療剤 アムロジピン	998	1,294	848	1,051	△ 15.0
筋萎縮性側索硬化症用剤 リルゾール	870	1,083	758	942	△ 12.9
高脂血症治療剤 リピディル	865	1,096	725	930	△ 16.1

※ カンデサルタン配合剤を含む